



news release

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 〒004-8588 札幌市清田区清田一条一丁目2番1号
〔URL〕 <http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

2012年4月2日

報道関係各位

北海道コカ・コーラ ボトリング株式会社

～ コカ・コーラから新型ケータイ(形態) デビュー！ ～
二人暮らしにもちょうどいい、“北海道民のためのボトル”

1.25Lの「スマートボトル」、略して“スマボ”を新発売

2012年4月9日(月)、北海道内限定で発売開始
札幌工場での新マルチPETライン稼働により、道民のニーズにあわせたパッケージの提供が実現

北海道コカ・コーラボトリング株式会社(本社:札幌市、代表取締役社長:矢吹 健次)は、二人暮らしにちょうどいい新容量・新形態の1.25L PETボトル「スマートボトル」を、2012年4月9日(月)より、**北海道限定で新発売**いたします。



この度、新たにデビューする「スマートボトル」略して“スマボ”は、1.25Lという容量と、その独特の形態の組み合わせが最大の特長となります。ちょうどいい飲みきりサイズで持ち運びにも便利なスマートボトルは、飲み物を注ぐ時にも持ちやすいくびれをボトルの中央部分に配し、スーパーマーケットなどでの主な購買者にあたる女性やシニア層の利用にも配慮しています。

この新しいPETボトルが限定発売されることとなった北海道は、47都道府県の中でも東京都に次いで2番目に1世帯当たりの人員が少ない地域です。「スマートボトル」は、そんな少人数世帯の多い、現在の北海道民の生活スタイルを考慮に入れて開発されました。

そして「スマートボトル」の発売を後押ししたのが、2012年3月 札幌工場に約42億円を投資した新マルチPETラインです。この新ラインの稼働により、市場のニーズに応じて、280mlPETの小型サイズから2Lの大型サイズまで、11種類のパッケージの製造・供給ができるようになりました。

来たる少子高齢化社会の中において、国内の世帯の少人数化の傾向は今後ますます進むものと思われます。今回の“スマボ”を、まさにそんな現代人のライフスタイルにぴったりのボトルとして、将来的な全国での拡大導入も検討してまいります。

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

北海道コカ・コーラ ボトリング株式会社 広報・CSR推進部 担当: 竹内 TEL: 011-888-2091

【「スマートボトル」 概要】

仕様



ラベルデザイン



1.スマートボトル訴求
 「軽くて、ちょうどいい、スマートボトル™」
 ＊PET樹脂量30%削減 当社1LPET製品比

2.北海道限定マーク
 パッケージ正面に記載
 (他ボトラー社エリア展開拡大時は変更)



特徴 ~ 二人暮らしにちょうどいい ~

二人暮らしの家庭にはピッタリの(飲みきり)サイズ。

開封した後は、飲みきれない量で長時間そのまま、ということはなく、新鮮なうちに飲みきれれるちょうどいい量。また、帰宅途中に買って、持ち歩いても苦にならない重さ。

特徴 ~ 北海道民のためのボトル ~

「スマートボトル」は、二人暮らし世帯の多い北海道民の生活スタイルを考慮して開発されたもので、北海道エリア限定で展開します。

この「スマートボトル」は、北海道コカ・コーラが新たに約42億円の投資をして導入した新マルチPETラインで製造されるものです。これまで道外から購入・運搬していた中・大型容器を道内で製造～流通・販売まで完結させることが可能となり、輸送する際に発生していたCO₂を削減できるほか、地産地消への貢献もいたします。

【ラインナップ】

製品ラインナップ(写真左から)

- ・爽健美茶
- ・綾鷹
- ・からだ巡茶
- ・アクエリアス ビタミンガード
- ・アクエリアス
- ・紅茶花伝 マイルドミルクティー
- ・紅茶花伝 ロイヤルストレートティー



発売日 / 展開エリア

2012年4月9日(月) / 北海道内限定

展開チャネル

北海道内のスーパーマーケット、ドラッグストアなど

容量

1.25L

メーカー希望小売価格

208円(税込)

【プレゼントキャンペーン】

4月9日(月)のスマボ発売から、スーパーマーケットではショッパーを対象にしたプロモーション活動も実施して、スマートボトルの購買促進につなげて参ります。

キャンペーン名称

デザートボウルプレゼント

実施期間

2012年4月9日(月)～無くなり次第終了

実施チャネル

スーパーマーケット * 一部実施しない店舗もあります。

対象者

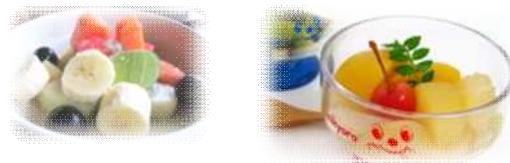
スマートボトルを購入された方

賞品

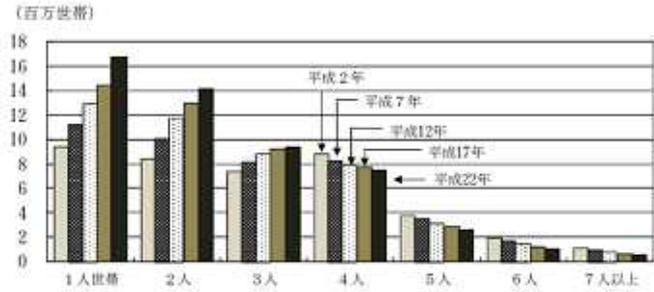
特製デザートボウル1個



【デザートボウル】サイズ:
(約)直径70×H40mm



図V-1-2 世帯人員別一般世帯数の推移—全国（平成2年～22年）



総務省統計局「平成22年国勢調査報告」より

【開発背景 ～ 北海道民のために開発された新PETボトル～】

世帯構成(全国と北海道エリア)

平成22年国勢調査「人口等基本集計結果」⁽¹⁾によると、5000万世帯を超える日本の世帯において、1人世帯が一般世帯の32.4%と最も多く、世帯人員が多くなるほど世帯数は少なくなっている状況にあります。2人以下の世帯として見ると、約6割の59.6%(1人32.4%、2人27.2%)にも達します。

一般世帯の1世帯当たり人員を都道府県別にみると、東京都が2.03人と最も少なく、次いで北海道が2.21人、鹿児島県が2.27人などとなっています。平成17年と比べると、全ての都道府県で一般世帯の1世帯当たり人員は減少しています。

少人数世帯の多い北海道エリアは、スマートボトル展開に適した地域であり、今後の全国展開を検討する際の試金石となると考えています。

(*)…総務省統計局「平成22年国勢調査報告」より

地産地消を応援

北海道コカ・コーラボトリング札幌工場において、2012年3月8日の新マルチPETラインの導入により、280mlの小型ペットボトルから2Lの大型容器にいたるまで、多様な種類の製品が生産できるようになりました。

これまで本州からペットボトルを輸送する際に発生していたCO₂を削減できるほか、地産地消への貢献にも繋がるなど、期待されています。

「スマートボトル」は、北海道で生産・販売される、北海道エリア限定商品として展開します。



札幌工場の新マルチPETライン竣工

新マルチPETラインは、更なる品質向上を目指し、最新技術を採用した北海道民のニーズに合わせた新ラインです。

約42億円を投資した新ラインは、薬剤を使用しない容器殺菌方法である「EB殺菌」技術により、水の使用量を約50%節水することに成功しました。

また、省スペースを考慮した「モノブロック構造」で、ペットボトルのボトル成形から充填までを一体化するなど、省エネルギーを考慮した最新鋭のラインです。

この新ライン工場の稼働によって、新型であるスマートボトルの展開が実現し、北海道の皆様へ提供することができます。



*今後の展開(少人数世帯の増加に対応して)

国勢調査の度に少人数世帯は増加の一途をたどっており、将来推計においても益々少人数世帯が増加することが予測されています。このことから、少人数世帯に対応した商品ニーズは将来的にも期待されるものと考えており、今回、北海道エリア内での実績をもとに、全国での拡大導入も検討してまいります。